



大学

桶渡 彩

近畿大学
工学部建築学科 講師

吉谷 公江

近畿大学
工学部建築学科 講師

市担当課

X

建設部技術企画課

地域振興部安芸津支所
産業部ブランド推進課



1 課題

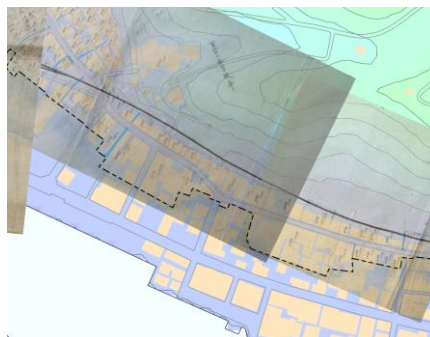
- (1) 棧橋の改修、公共交通と安芸津港の接続、放置艇対策等の取組みが必要。
- (2) 港湾施設の維持管理、災害時のネットワークづくり、沿岸地域の安心安全の実現に向けた安芸津港湾沿岸地域再生ビジョンが必要。
- (3) 訪問者に向けた安芸津の歴史的なコンテンツの整理や、訪問当日の受入れ態勢整備が必要。

2 概要

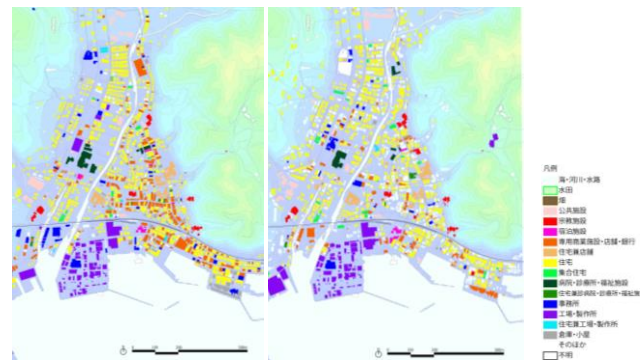
地図史料や文献史料から歴史的にその場所を読み、徹底したヒアリングを行い、様々な視点から安芸津地域の本質的な価値を検証する。



史料撮影



1900年の海岸線の復元図



・1971年（左）と2020年（右）の建物用途変化

3 研究成果 データ取得・分析

- (1)文献・史料の収集を行い、分析を進めた。
- (2)三津に関する1900年の地籍図から当時の海岸線の復元を行った。また、同地籍図から町と山との繋がりを示す地域の在り方が見えてきた。
- (3)1970年代以降については、ゼンリン住宅地図を用いて変化の過程を概観した。1970年代の住宅地図を用いることで商店街として賑わいがあった具体的な町の様子を把握した。50年以上続く店舗を割り出した。

4 今後の展望・現状

- (1) 文献・史料の収集をさらに行之、安芸津及びその周辺地域の理解を深める。
- (2) 安芸津について書かれているものが少ないため、地図史料や古写真、絵図、文書などの記録から歴史を読み解くことが求められている。今後は古写真の収集を目標とする。
- (3) ヒアリング件数を増やし、他地域とのつながりについて発掘する。

→ 令和7年度共同研究型